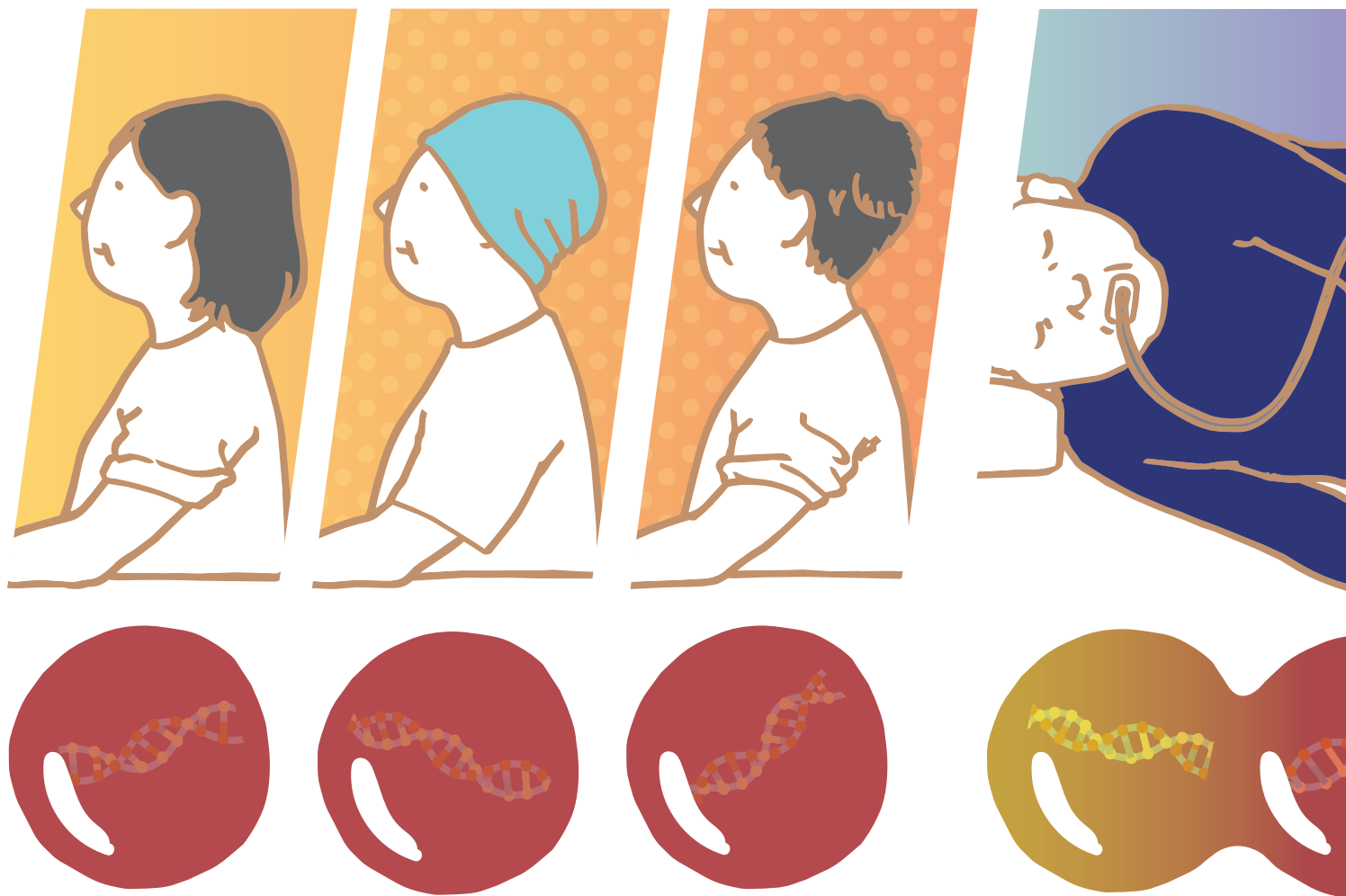




2026 年度 第 5 回

《司会》宮城県立がんセンター 研究所・研究所長 安田 純

リキッドバイオプシーの臨床応用

■ 宮城県立がんセンター 研究所・研究所長 安田 純

「当センターでのリキッドバイオプシー研究」

■ 東北大学大学院 消化器外科学分野 准教授 青木 修一

「胆道系腫瘍に対する胆汁リキッドバイオプシー」

■ 岩手医科大学医歯薬総合研究所 創薬・医療開発部門・特任教授 西塚 哲

「社会実装を目指した超高感度ctDNA時系列モニタリング」



今月は第 3 木曜日！

《日 時》2026 年 9 月 17 日(木) 17:30-18:30

《参加方法》自施設会場にて 現地参加 または Zoom のいずれか

《参加費》無料 《対 象》医療従事者

《会 場》Zoom にてオンライン開催

《お問合せ》国立がん研究センターがん対策研究所 がん医療支援部
多地点カンファレンス事務局 telemed-admin@ml.res.ncc.go.jp

多地点合同
メディカル・
カンファレンス

『多地点合同メディカル・カンファレンス』は全国のがん診療レベルの向上を目的とした医療従事者のためのカンファレンスです

リキッドバイオプシーの 臨床応用

多地点合同
メディカル・
カンファレンス

座長：宮城県立がんセンター

研究所・研究所長 安田 純

血液などの体液からがん由来の成分を検出し、治療に役立てるリキッドバイオプシーはすでに保険診療でも活用されています。しかし、生涯一回、血液のみという保険診療の制約の中でリキッドバイオプシーの本来のポテンシャルが生かし切れていないように思われます。本カンファレンスではリキッドバイオプシーの良さを生かした新しい戦略についてご紹介いたします。

《開催日時》

2026年9月17日（木）
17:30—18:30

《会場》

Zoomにてオンライン開催

1 当センターでのリキッドバイオプシー研究

宮城県立がんセンター 研究所・研究所長 / 安田 純

保険診療でのリキッドバイオプシーが分子標的薬剤の探索に特化している中、リキッドバイオプシーをよりよく臨床応用することが求められています。術後経過観察での残存腫瘍のモニタリングや、化学療法後の再発モニタリングと再発の分子機構の探索、機械学習を用いた変異検出技術の開発など、当センターの様々な取り組みを紹介します。

2 胆道系腫瘍に対する胆汁リキッドバイオプシー

東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野 准教授 / 青木 修一

血液リキッドバイオプシーの普及が進む一方で、胆道・膵臓がんにおけるその臨床的意義は限定的な状況にあります。これに対し、特に胆管がんにおいては、高感度ながんゲノムプロファイリングを可能にする胆汁cfDNAの有用性に注目が集まっています。本セッションでは、胆汁および血中cfDNAを組み合わせることで、より鋭敏に治療奏効を捉える新たなバイオマーカー開発と、その臨床応用の可能性について解説します。

3 社会実装を目指した超高感度 ctDNA 時系列モニタリング

岩手医科大学医歯薬総合研究所 創薬・医療開発部門・特任教授 / 西塚 哲

がん治療には早期再発予測、治療効果判定、無再発確証のための高感度マーカーが必要です。腫瘍由来血中循環DNA（ctDNA）は、その濃度変化が臨床経過をよく反映することが知られています。現在、多くの場合ctDNAは単回測定による患者層別化に用いられますが、現場では患者ごとの腫瘍動態を時系列で捉える個別化が重要です。我々は患者ごとの時系列モニタリングを可能とする超高感度技術を開発し、社会実装を目指しています。

▶Zoomに事前登録の上、ご参加ください！

https://zoom.us/meeting/register/B92_Gc4_RxShQ6eEFi6S2g



日本がん治療認定医の 単位申請を検討中の方へ

多地点合同
メディカル・
カンファレンス

2026 年度多地点合同メディカル・カンファレンスの対象プログラムの受講により、
日本がん治療認定医の新規申請の学術単位 3 単位が取得できます！
下記対象カンファレンス全日程を受講された方へは、受講証明書を発行いたします。

<対象プログラム>

【第 5 回】2026 年 9 月 17 日（木）17：30～18：30

テーマ：リキッドバイオプシーの臨床応用

担 当：宮城県立がんセンター

司 会：研究所 研究所長 / 安田 純

【第 6 回】2026 年 10 月 29 日（木）17：30～18：30

テーマ：胃がん周術期における体組織測定の意義

担 当：新潟県立がんセンター新潟病院

司 会：消化器外科 部長 / 會澤 雅樹

【第 7 回】2026 年 11 月 26 日（木）17：30～18：30

テーマ：埼玉県立がんセンター放射線診断科における在宅読影システムの導入経緯と現状

担 当：埼玉県立がんセンター

司 会：放射線診断科 部長 / 女屋 博昭

【第 8 回】2026 年 12 月 24 日（木）17：30～18：30

テーマ：肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を用いた術前治療

担 当：東京都立駒込病院

司 会：呼吸器外科 部長 / 中川 加寿夫

4 研修の内、
3 研修のご受講で
認定されます！

※単位取得希望する方は 9 月 16 日（水）16 時までに二次元コードから

事前にご登録ください。ご不明な点、詳細につきましては事務局へお問合せください。

多地点カンファレンス事務局（受託企業：株式会社インソース）

MAIL：ncc-helpdesk@insource.co.jp



多地点合同メディカル・カンファレンスの参加方法

1. 開催概要

- ・ 原則：毎月第4木曜日 17:30～18:30 ※第5回は第3木曜日・第6回は第5木曜日に開催
(詳細は年間予定表をご参照ください)
- ・ 参加費：無料
- ・ 1回のみの参加も可能です
- ・ 開催後、約1か月間のアーカイブ配信があります(参加登録者に限定してご案内します)

2. 対象

がん診療に関わるすべての職種

3. 参加登録

開催の約1か月前に、

- ・ 多地点カンファレンスの企画・参加加盟施設の医療従事者
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院の医療従事者

に向けて事務局より広報メールをお送りします。(委託業者:株式会社インソースより配信されます)

メールに記載の URL または二次元コードより事前登録をお願いいたします。

登録完了後、当日の参加用 URL が自動返信メールにて送付されます。

▶多地点メジコンホームページからも参加登録が可能になりました。(各回・下部に掲載)

<https://ganjoho.jp/med pro/vod/conference.html>

※[2026 年度-第〇回]の表示が年ごとの表記となっており異なっておりますので、開催日／テーマにてご検索ください。

4. 参加方法

個人の PC 等からオンライン参加が可能です。

※ 施設内で会場を設置し集合形式で参加される場合は、施設のご担当者様(研修担当・事務担当等)より事前に事務局までご一報ください。個人参加者からのご連絡は不要です。

終了後に参加人数の簡単な報告へのご協力をお願いしております。

本件に関する問合せ先

多地点カンファレンス事務局(受託企業:株式会社インソース)

MAIL:ncc-helpdesk@insource.co.jp